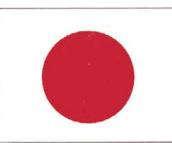




毎月十五日発行 所 社 会 宗 像 大 社 宮 司 太 田 可 愛
〒811-3505 福岡県宗像郡玄海町 電話 0940-13311
http://www.munakata-taisha.or.jp/ 定価 一年送料共 1000円



二月十一日には 国旗を掲げ 建国記念日を 祝いましょう

平成十四年・壬午 新春を迎えて

宗像大社 宮司 太田 可愛



清々しい平成十四年の新春を迎え、謹んで皇室の弘業と国家の安泰併せて氏子崇敬者皆様方の益々の御繁栄と御健康を心よりお祈り申し上げます。

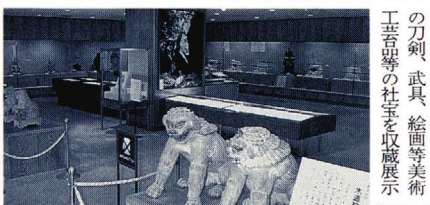
旧臘朔日、皇太子妃雅子殿下には、皇孫敬宮愛子内親王殿下を御出産遊ばされ日本国中が暖かい雰囲気にお包まれました。

皆様と共にこの御慶事を奉祝し、健やかな御成長をお祈り申し上げたいと思っております。

平素から、氏子・崇敬者皆様方の真心からなる御奉賛を賜り、お蔭をもちまして当大社の諸祭儀及び諸行事を滞りなく順調に執行することができました。ここに深く感謝し厚く御礼申し上げます。

昨年は、九州に台風上陸がない徳幸の年で、宗像地方は五穀の稔りが豊かで、

当社神田も豊作でした。毎朝の日供祭には、この新米を捧げ、神恩に深く感謝申し上げております。



調査報告書に詳しく記載されているものの、所在不明のため、文化財として未指定となっていました。直ちに文化庁を始め、関係諸庁に報告し、追加指定の手続きを行っております。

現在、沖ノ島出土の祭祀神宝は、重文に指定され、中でも、学術的に優秀品が国宝とされていますが、沖ノ島祭祀品群を全て国宝という枠組みの中で考える観点から、これを一括国宝にしたいとの意見が関係者により、これに添うべく只今分類目録の詳細、再調査報告書を取戻りまじめの運びとなっております。

当国国宝・重要文化財社伝の宝物を収蔵する神宝館は、来月より休館し、別掲の通り新たに空調設備を設置します。五月の当社沖ノ島・沖津宮現地大祭には、製作はRKB毎日放送

点から、これを一括国宝にしたいとの意見が関係者により、これに添うべく只今分類目録の詳細、再調査報告書を取戻りまじめの運びとなっております。

御装置も故障が多く部品等も二十数年が経過し、製造中止で交換修理も不可能な状態となっている。

建物内の除湿乾燥、歪み等の養生を行い同五十五年十一月に閉館された。

館内空調は当初の方針で「外気を吸入し内気を排出する」自然環境を重視したダンパー型式の設備が施工されたが、鉄筋コンクリート三階建、延床面積二〇〇〇平方メートル完全密閉形の建物の為、夏季は高温多湿、冬季は低温乾燥の「サウナと冷蔵庫」の状態である。

近年は玄界灘の海風と真横の道を行交う車の排気ガス等の影響でダンパーの閉閉装置等の腐蝕が進み正常な作動が出来なく、温湿度等を管理記録する集中制御

で多額の出費を要する事業に容易に着手した。昨年度、県と大社の担当で神宝館の維持管理について会合を行った。その際で大社から神宝館に関する経過も自今の対応について説明を行ったが、県は「このままの状態では一つ取藏品に悪影響が出ると取返しが出来ない、早急に善処法を要望する」との指導で、内部協議を行い「文化財保護法に基づき補助事業申請を行うこと」に決した。

近年の国・県の財政事情と行政改革の方針のもと申請許可の見透しは厳しいと考えられたが、国県共に近況の当館の環境不備の復旧を認められ、申請が受理された。

大社では急遽事業計画と経費について検討、昨年七月に正式に県へ補助事業申請書を提出、同年十一月の文化庁の第一次審議会上に於いて平成十三年度補助事業として承認され、十二月二日付で正式に認可された。

「お知らせ」 神宝館空調工事に付、左記の間 休館致します。 自 平成十四年 二月一日 至 同 三月三十一日 宗像大社神宝館

謹んで新年の御祝詞を申し上げます 平成十四年 元旦

宗像大社責任役員会	宗像大社氏子会
代表役員 太田 可愛	会長 安部 照生
責任役員 出光 昭介	副会長 佐藤 千里
大野 茂	岩佐 昭正
山下 寛彦	堺 豊三郎
麻生 泰	中野 政登
河野 幸人	監事 古屋敷清文
古部真太郎	城野 豊夫
深田 幸夫	村田 政夫
高原 文雄	宗像大社沖中両宮奉賛会
の場 重郎	会長 佐藤 千里
	副会長 古賀 理
	遠藤 三笠

宗像大社職員	宗像大社職員
宮司 太田 可愛	上部 西
権宮司 神島 定	八尋 直実
禰宜 山田 幸雄	縄田 法子
石橋 清寿	中山 実香
堤 宏	事務員 竹本百合子
高田 正秀	管理員 深田 仁
渡辺 秀丸	西野百合子
杉山 安彦	井上 光生
宇都宮 勤	岩佐 光二
伊藤 佳和	奥宮 種男
葦津 幹之	吉田 弘
佐々木大治	管理員 広橋 康子
中原 裕生	阿部 和代
御床 直之	力丸 正輝
大塚 宗延	占部チヨカ
長友 貞治	福崎加代子
藤田 俊介	吉武 律子
山田あや子	非常勤事務員 藤井 啓子
岡村 弥生	非常勤嘱託 重住真吾
山田あや子	非常勤嘱託 藤井 啓子
戸田真紀子	非常勤嘱託 藤井 啓子
花田重矢子	非常勤嘱託 藤井 啓子
山口 尚子	非常勤嘱託 藤井 啓子
前田 恵美	非常勤嘱託 藤井 啓子
上野 明香	非常勤嘱託 藤井 啓子
佐藤 忍	非常勤嘱託 藤井 啓子
権田 綾子	非常勤嘱託 藤井 啓子
山本 恵子	非常勤嘱託 藤井 啓子

初詣

皇紀二千六百六十二年(壬午) 初日の輝きと共に迎えました。



午前零時の太鼓の響きと同時に神門が開かれ、平成十四年・壬午年の暮が開きました。

折りしも、皇孫敬宮愛子内親王殿下がご誕生遊ばされて初めてのお正月という事で、日本国中が暖かい雰囲気包まれ、明るい希望の光が射してきましたが、天候は生憎元旦・二日と第一級の寒波に見舞われ、雪まじりの冷たい雨と強い北風が吹き荒れました。このような荒天の中、開門前より並んでいた数多くの参拝者が、薄暗の中ほんばりの明かりだけが灯る本殿・次々と参拝、ひたすら手をあわせている姿は、混迷の続いている世情を映しているかのようでした。

しかし、三日からは寒気も緩み、宗像市・郡内、また県内外より多くの方が参拝され、三が日で約四十八万人にもなりました。

この初詣に対応すべく、今年恒例の「新春福みくじ」の授与所を改装して、一角に「古札受取所」を併設し、古い神札やお守り・神殿等を参拝者から直接お受けするよう致します。

二社頭では福迎えや破魔矢等の縁起物を始め、今正月から一部アサインが代わったお守り等を多くの方が授与され、特に昨年十二月に頒布を始めた、JNN九州・沖縄七局共同企画報道特別番組「RKB毎日放送制作九州遺産・神の宿る島海ノ正倉院・沖ノ島」のビデオは、参拝者の関心を集めていました。

祈願殿での交通安全大祈願祭には、運輸関係の企業を始めご家族連れも多く、の方々から今年一年の交通安全を祈念され、大駐車場はいつもほぼ満車の状態でした。更に儀式殿では、業務安全・家内安全・厄年祓等の年頭祈願も多く、祈願祭の始まりを告げる太鼓の音が、終日境内に響き渡っていました。

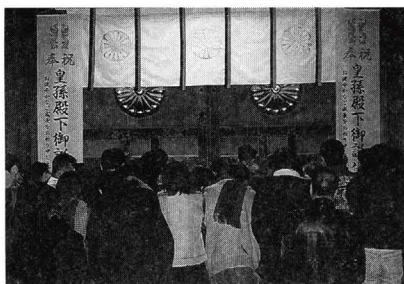
また今年の干支は「壬午」という事で、玄海町神楽の乗馬倶楽部「カーナディアンキャンプ」の「馬」の参拝には、居合わせた参拝者も驚き、馬と一緒に記念写真を撮るほほえましい姿も印象的でした。

引き続き世相は混迷しておりませんが、この新しい年に希望の光が見えます。すやう、宗像の大神様のご加護の下、全ての人々にとりまして良い年でありますよう御祈念申し上げます。

尚年頭の祈願祭に御参拝戴きました各社を紹介し御礼に変えてさせて頂きます。

新年祈願各社御芳名

- (一日) (火)
九州旅客鉄道(本社) 外丁 Rグループ六社 (社) 宗像青年会議所、クボタ不動産



- 産、(株)大富、日若運送(株) 中原長安園、(有)アースキャバ、(有)カナディアンキャンプ乗馬クラブ、ニビン運送(株)、ニビン醤油(株)、恭井建設(株)、第一運送(株)、二瀬産(株)、松岡テント工業(株)、(株)門司陸運、九州公建倉庫(株)、(株)オガタストーン、サンキ防災設備(株)、(株)サンケン・エンジニアリング、ローム・アポロ(株)、朝陽商事(株)、(株)富士金属工業、古賀屋本店、南興商事(株)、福岡フロンテ販売(株)、浦田運送(株)
- 一月一日(水)
港運貨物(株)、日本テクノセンター(株)
- 一月二日(木)
イトー運輸サービス(株)、防除資材(株)、上田啓茂、徳留組

- 一月四日(金)
出光興産(株)九州支店 (株) 新出光、新出光不動産(株) シーアイ化成(株)福岡支店、山九(株)建設事業本部機材部九州機材センター、宗像農協同組合、(株)松浦重機、三井鉱山コークス社員労働組合、(助)九州電気保安協会福岡支部福岡事業所、九条運輸倉庫(株) (株)日の丸建設工業、三井西日本埠頭(株)、ヤマト運輸(株)福岡主管支店、玄海



- 町役場建設課 (株) 日本道路サービス、玄海町役場上下水道課、(株)九州リゾート開発、神楽リゾートホテル、(株) 壺川バス(株)、石川泉輪島市鎮座奥津比売神社総代工場、山崎製パン(株)福岡工場、藤野運輸興業(株)、吉田海運(株)北九州営業所、第一運輸(株)福岡支店、九州エス物流(株)、豊洋産業(株)、(有)ひまわり観光、(株)山九ロードエンジニアリング、環境開発工業(株)、ジェイアール九州住宅(株) (株) 天堂

- 一月五日(土)
(株) 新出光福岡総合油槽所 九州日立物流サービス(株)、九州共立大学硬式野球部、宗像球友クラブ、ZIZ Yライタース、弘和輸送(株)、交通システム(株)、春日工業(株)、(株)日本環境保全、九州通信産(株) (株) 建設建設課、福岡日通パロパ販売(株)、日通商事
- 一月六日(日)
東海大学第五高等学校野球部、高須少年野球(有) 高山、N.G.C.カークラサ、ガータ建設(株) カサイ、(南)山本産業
- 一月七日(月)
(株) 弘江組弘栄会、西日本旅客鉄道(株)福岡支店、西鉄高速バス(株)、ヤマト運輸(株)九州支店、日立物流九州営業部、日立建

- 機(株)西日本支社、東アミーコントロールシステム(株)、クボタ、クボタ機械サービス、(株)クボタクレジット、(株)クボタアグリ九州、(株)ホンダエクスプレス九州営業所、次郎丸建設工業(株)、大祐産業(株)、住物建材リース(株)、西日本ホール、共栄配送(株)、(株)ジェイアル西日本福岡開発、日本道路(株)宗像出張所、藤木工務店村本建設共同企業体福岡支店、(株)ダイサン福岡サービスセンター、キョウサイ(株)ケール栽培部、西部ガス(株)天然ガス転換部転換部センター、水三島紙工(株)、東洋陸運(株) (株)日本理工医研
- 一月八日(火)
西日本鉄道(株)本社、西日本鉄道(株)流通レジャー事業部、西日本旅客鉄道(株)福岡支店福岡支店事務所、多総合車両所、西鉄千代営業所、西新営業所、西鉄バス二日市(株)、ジェイアール九州バス(株)博多支店、東九州アポロ(株)、ヤマト運輸(株)福岡引越支店、北交大和タクシー(株)、昭九鉄工業博多営業所、昭和鉄工業、翁造造船、広成建設(株)、若久校区自治連合会、三嶋神社、航空自衛隊吉原基地第2高射群・第6高射隊
- 陸上自衛隊第304 抗道中隊、(株)パルンタイロジバル福岡営業所、新日鐵高炉セメント(株)南マリコム(株)、平川産業(株)、誠心物流(株)、宗像第一幼稚園、(株)積善社
- 一月九日(水)
筑紫興産(株)、(株)福岡県トラック協会、親和ケミカルタンカ(株)、日本たばこ産業(株)九州コー
- ポレトセンター・福岡東営業所、(有)ロータークラブ、九州運輸、九州運輸福岡陸運支局、(株)福岡県バス協会、(株)福岡県タクシー協会、(株)福岡県自家用自動車協会、(助)福岡県交通安全協会、小郡三井地区交通安全協会、(助)福岡県自動車警備協会、宗像、福岡南、田川、八女、筑紫、直方地区、久留米市、飯塚地区、西福岡、川崎、城島三瀬交通安全協会、宗像地区交通安全協会、福岡県自動車販売協賛会、(株)フランソア、新エネルギー産業技術総合開発機構(株)本部九州事業部、(株)協和ビジネス、(株)新西鉄学園、(株)古賀市社会福祉協議会、(株)日本健康倶楽部北九州支店、北九旬包(株)、九州旅客鉄道(株)折尾電力、J R西労福岡地本博多新幹線別荘区分会乗務員分科会、九州産業運輸(株)、九州観光バス(株)筑豊電気鉄道(株)、共和技術工業(株)、大樹運輸(株)、宇土市商店会、神湊漁業協同組合、花田ビル(有)、老松会、九州エネルギー産業技術総合開発機構九州支部



平成十四年 2002

交通安全宗像大社の 御神徳をたたえ奉りて

謹んで新年の御祝詞を申し上げます



人へ。社会へ。地球へ。

TOYOTA

福岡県トヨタ販売店グループ

福岡トヨタ自動車株式会社
取締役社長 金子 宜 嗣
福岡市中央区渡辺通4丁目8番28号 電話(代)761-3331

福岡トヨペット株式会社
取締役社長 瀧山 勝 久
福岡市博多区東光1丁目6番13号 電話(代)411-1121

トヨタカローラ福岡株式会社
代表取締役社長 畝地 重 幸
福岡市中央区長浜2丁目1番5号 電話(代)712-7111

トヨタカローラ博多株式会社
取締役社長 久 恒 兼 孝
福岡市博多区豊2丁目3番50号 電話(代)441-2111

ネットトヨタ北九州株式会社
取締役社長 ト 部 典 昌
北九州市八幡西区皇后崎町14番6号 電話(代)642-2111

師走のまつり 古式祭・鎮火祭齋行



御神前にはミカンの原種である「九年母(くねんば)」、玄海町田島「お座」と同じく現在でも古式祭「お座」を催している同町江口の海岸に、この時期にか打ち上げられない



御神前の特殊神饌。稲穂が刺し立てられた御飯、新穀みそ汁、田楽なます、煮付け、神酒、菓子からなる御膳は古来より定められている。例年五番座まで

▲古式祭
師走十六日(日)午前六時境内はまだ暗闇の中、太鼓が鳴り響く。古式祭の始まりである。太田宮司以下神職、田島・江口両区長をはじめ、古式祭「お座」当番班代表、地元総代が拜殿に参進。

この古式祭は年の終わりの収穫感謝祭で約八百年の伝統をもつ、宗像地方独特の特殊神事である。

「お座」は「お座」と呼ばれる海藻、麦餅で調理された「お菓子」等の特殊神饌がお供えされた。

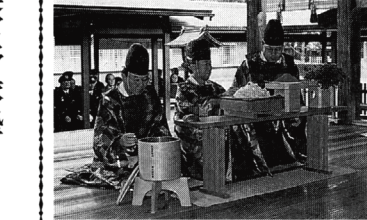
五穀豊穣と神恩感謝の祝詞が奏上され、神島権宮司の先導に合わせ神職・参列者全員で古歌を奉唱した。「千早ぶる」

第一ノ宮(第一宮)、第三ノ宮、木綿櫓、掛けての後は祭典後はいよいよ「お座」である。まだ夜の明けきらぬ中、次々と参列者が集い、午前六時三十分、番座が始まった。

稲穂が刺し立てられた御飯、新穀みそ汁、田楽なます、煮付け、神酒、菓子からなる御膳は古来より定められている。例年五番座まで

御神前にはミカンの原種である「九年母(くねんば)」、玄海町田島「お座」と同じく現在でも古式祭「お座」を催している同町江口の海岸に、この時期にか打ち上げられない

古式祭に続いて午前十時からは鎮火祭が齋行された。祭典の中では古式ゆかしく火打石により忌火を起し、瓢箪に水をもつ



鎮火の儀

であるが、今年は六番座まで行われ、約三百人の参拝者、お神様と共に二年の豊作を祝い、延命長寿、無病息災を祈念した。

尚、平成十四年は本来の祭典日である師走十五日(日)となっている。

火に注ぎ忌火を鎮め、その上に赤土をかけ川葉で覆う鎮火の儀式が行われた。迦具土神の荒びを鎮め、その災いを受ける事の無い様にと、火災の絶無と消防関係者の安全を祈り、市町村消防関係者をはじめ県議、市町村長、警察関係者、氏子代表者多数が参列して玉串拝礼を行い、敬虔な祈りを捧げた。



去る十二月二十九日熊本の奥宮野球場に於いて八回目の日本ハムファイターズ神島崇投手も参加

第八回 奥宮野球場 熊本県菊池市で開催

日本ハムファイターズ 神島崇投手も参加

去る十二月二十九日熊本の奥宮野球場に於いて八回目の日本ハムファイターズ神島崇投手も参加

前同様菊池神社本宮司の依頼により、当大社神島権宮司、奥宮管理員として今回は神島権宮司次男で、丁度オフの為故郷に帰省していた日本ハムファイターズでプレーする神島崇投手も参加し、七城小中学校の生徒約六十人が参加し七城中央公民館に於いて開催の運びとなった。

生徒・保護者で埋め尽くされた会場で、先ず神島投手がプロ野球選手に進むまでの道のりとプロの世界に入ってからの日々について話すと、夢みるプロ野球の世界の話に目指す生徒と、後押しする保護者の目は真剣そのものであった。

ちなみに「菊池」は神島投手にとって第二の故郷であり、後援会「和会(なごむかい)」があり、応援してくれる方も多い地である。その為神島投手も少し恩返しが出来たと喜んでいました。

続いて、奥宮管理員が前回グラウンドでの指導の延長線として、今回は理論的に

新年を迎え、皆様方におかれましては益々御清栄のことと存じます。扱て、当大社恒例の節分祭を左記の如く齋行致しますので御参拝下さいますようお願い申し上げます。

節分祭ご案内

一、日時 平成十四年二月三日(日) 午前十時
祭典終了後、豆打式

一、場所 当大社祈願殿
平成十四年一月吉日

宗像大社社務所

各 位

一月十七日(日)～二十一日(月)迄、厄除特別祈願祭を左記により終日執行いたします。

記

一、祈願祭会場 於 儀式殿
一、祈願初穂料 一人 五〇〇円
一、授与品 福升一箇(福豆一合)
厄除守札一付・開運守札一付

ビデオ 神の宿の島

海の正倉院・沖ノ島

販売価格 2,000円(税別)

社頭にて好評頒布中

郵送をご希望の方はビデオ代金と下記の送料を添えて、現金書留にて当大社へ申し込み下さい。

1～3本 500円
3本以上 1,000円

平成十四年 交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて 2002

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡ダイハツ販売株式会社

取締役社長 内山 邦彦

福岡市博多区東比恵四丁目二番二号
電話(代)〇九二一四二一一三三〇番

日本自動車連盟九州本部

本部長 金子 宜嗣

福岡市早良区室見五丁目二番二七号
電話(代)〇九二一八四一七六七六番

日産プリンス福岡販売株式会社

代表取締役 隅田 博

福岡市中央区平尾三丁目六番三三号
電話(代)〇九二一五二一九五六一番

宗像大社年中祭事表

一月一日	元旦祭
一月二日	新年祭
一月三日	元始祭
一月十三日	献米奉告祭
一月十五日	成人祭
二月三日	節分祭
二月十一日	建国祭
三月十九日	松尾神社祭
三月二十日	皇霊殿遥拜式
四月一・二日	春季大祭
四月二日	宗像護国神社春祭
四月八日	沖・中両宮春季大祭
四月二十九日	昭和祭
五月五日	五月祭・浜宮祭
五月二十七日	沖津宮現地大祭
七月十五日	祇園祭
七月三十一日	大祓式引き続き夏越祭
八月七日	中津宮七夕祭
八月十五日	護国神社戦没者慰霊祭
	千灯明
九月一日	風鎮祭
九月二十三日	皇霊殿遥拜式
十月一日	海上神幸「みあれ祭」
十月一〜三日	秋季大祭「田島放生会」
十月三日	宗像護国神社秋祭
十月十七日	表千家々元献茶祭
十月三十一日	沖・中両宮秋季大祭
十一月三日	明治祭
十一月十五日	七五三祭
十一月二十三日	新嘗祭
十二月十五日(日曜日)	古式祭並鎮火祭
十二月十九日	松尾神社祭
十二月二十三日	天長祭
十二月三十一日	大祓式引き続き除夜祭
毎月一日	月次祭
毎月十五日	月次祭

第四八七回 宗像大社歌会詠草

大野展男 選

毎月 25 日 切

武九 中村 五月
紅葉する菊池溪谷行くバス
に初冠雪の阿蘇の山見ゆ
(評) 標高百米に一度下がると言う気温。紅葉と雪を一度に見た作者である。

日の里 石松 知子
車窓よりはるかに望む福智山
山バステルカラーに染まりて眠る
(評) 《眠る山の裾に立てたる障子かな 虚子》と詠われた冬の山の景。丁寧な詠った所がいい。

自由ヶ丘 細川 絹子
朝の日に照りて黄色の映えてをり垣根を越えし大さザボンが
(評) サボンに焦点をしばり穏やかな初冬の景を描き出しては、(語順を入れ換えたが作者は参考にして下さい)。

名屋 小田 留子
土の中にひめたる力持ちあしや畑の大根身をせり上ぐる
(評) 畑土から二十センチ近くもせり出て見た大根を「ひめたる力」と見た作者の眼力は見事である。

朝野 藤井 造子
観光船にぶつかるとに驚の群餅まくを待ち近々と飛ぶ
(評) 餅を撒く場所、時までも知っているおびたちの知恵に、作者は驚き感心しているのである。

田野 森 甲子
年の瀬の阿羅エらも青鬼の角の形のアロエの蕾
(評) 寒風の中つくと立つアロエの花の蕾を、年の瀬の阿羅エの青鬼の角だと見立てたのはお手柄。

神 湊 中山 千鶴
雲海に夕陽は落ちる茜色と黒き色とに空を染め分け
(評) 高千穂あたりだろうか、晩秋の夕焼の大景をうまくとらえている。

福岡 中村 勇
このころは話神間の頼り欲し話は老いの愚痴のみなるも
(評) 「金木庫散れば七十七のわれ廻りどころとせ私新(さら)なる生を」と私年長の中村さんが、私達は何時新しい時間にかまれているのです。小学校の新入生と同じなのです。心あらたにして短歌を作ってください。

鐘崎 安永 久子
胡座して男子高生座る前少し気おくれし列車を降りる

名屋 小田 喜一
余生をば余白にはせず生き延びし証しとなさむ賀状書きをり

日の里 石松 弘次
木守柿残る坂道曲り来し傾りに野菊腹遣いて咲く

田野 森 つるの
冬ざれの櫛田に来て白鷺はか細き足に何かをさるる病む

池田 小田 イセ
転ころと真綿転がすごとくしててこぼ一つの犬がじゃれつく

吉留 高山 信子
秋深くいよいよさやけき紅葉のまよえよまよえと老にささやく

大島 越智 治子
一夜にて黄に輝やける銀香樹は強風吹きて裸木となる

城南ヶ丘 中間日出子
秋月の彩とりどりのもみじ葉は秋日記取り込み鮮やかに照る

自由ヶ丘 土井真由美
冬將軍きたりて裸となりし木々吾が衣まで凍てつく如し

光岡 河村 久光
この秋も黄金田重く頭たれ朝日の中にコンパイン待つ

日の里 佐藤 純一
牛を飼育て上げしも病む牛は骨をもおかし子牛まで病む

賀正

福岡国際

カントリークラブ

福岡県宗像市大字朝町
電話〇九四〇一三三三四四(代)

御一礼

当大社恒例の大祓式新行に当りましては、宗像市・郡内氏子各位並びに全国宗像者の皆様より多数の人数をお寄せ戴き、お祭を以ちまして、祭典は天候にも恵まれ滞りなく、盛大に斎行致すことが出来ました。ここに誌上を以ちまして謹んで御礼申し上げます。

平成十四年一月吉日

宗像大社
宮司 太田 可愛

献米袋配布並に取纏め御礼

平成十四年、宗像大社献米奉告祭新行にあたり、市郡氏子各位への献米袋配布並に取纏めにつきましては年末年始お忙しい中、御奉仕を賜り厚く御礼申し上げます。

祭典は例年にもまして盛大賑やかに斎行致すことが出来ました。

ここに誌上をもちまして謹んで御礼申し上げます。

平成十四年一月吉日

宗像大社
宮司 太田 可愛
宗像大社氏子会
会長 安部 照生

賀正

玄海灘を望む風光明媚な
格調高いシーサイド・コース

玄海ゴルフクラブ

福岡県宗像郡玄海町
電話〇九四〇一六二二三三(代)

2002

新年おめでとうございます

〇玄海国定公園の中心……風光明媚……生魚料理……宗像大社となり…玄海ホテル旅館組合
市外局番 (0940)



泉 館
電話 六二一〇三三五番

魚 屋 本 店
電話 六二二二二三番

魚 屋 別 館
電話 六二二三三五番

玄 海 旅 館
電話 六二一〇〇二番

玄海ロイヤルホテル
電話 六二一四二二(代)

神湊スカイホテル
電話 六二一三八〇番

高 嘉 旅 館
電話 六二一三二二番

ニ ュ ー 千 鳥 荘
電話 六二一〇六八番

は ま 荘
電話 六二一〇五〇番

松 風 荘
電話 六二一〇二〇番

み な と 荘
電話 六二二三三五番

神湊リゾートホテルニュー倶楽部
電話 六二二三三三番

国民宿舎 ひびき
電話 六二二二八八番

海 宴
電話 六二一〇〇〇番